



## 2019年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年3月8日  
上場取引所 東

上場会社名 ベルグアース株式会社  
 コード番号 1383 URL <http://www.bergearth.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 一彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理部管掌(氏名) 薬師寺 朝徳 (TEL) 0895-20-8231  
 四半期報告書提出予定日 2019年3月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年10月期第1四半期の連結業績 (2018年11月1日2019年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第1四半期	464	0.3	△244	—	△247	—	△166	—
2018年10月期第1四半期	463	△7.7	△254	—	△252	—	△168	—

(注) 包括利益 2019年10月期第1四半期 △176百万円(—%) 2018年10月期第1四半期 △179百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第1四半期	△131.46	—
2018年10月期第1四半期	△132.65	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年10月期第1四半期	3,259	1,151	29.8
2018年10月期	3,711	1,340	31.0

(参考) 自己資本 2019年10月期第1四半期 970百万円 2018年10月期 1,150百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る連結財政状態については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年10月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年10月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年10月期の連結業績予想 (2018年11月1日～2019年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,228	11.3	118	765.0	110	275.7	65	122.5	51.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年10月期1Q	1,269,900株	2018年10月期	1,269,900株
② 期末自己株式数	2019年10月期1Q	200株	2018年10月期	193株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年10月期1Q	1,269,700株	2018年10月期1Q	1,269,727株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年10月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(追加情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業の経営成績や雇用情勢が改善など、引き続き緩やかな回復基調で推移しましたが、米国・アジアの政策及び経済動向、金融資本市場の変動、今後想定される消費税率引き上げの影響など、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの第1四半期連結累計期間(11月～1月)の業績につきましては、主力製品である野菜苗の需要が全国的に減少する時期であるため、売上高が他の四半期と比較して少額となる傾向にあります。一方、コスト面では、減価償却費や間接部門の人件費等が各四半期に概ね均等に発生することに加え、燃料費等の冬季経費が発生するなど季節的な業績変動要因があります。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は464,542千円と前年同四半期と比べ1,263千円(0.2%)の増収となりました。損益面につきましては、営業損失244,570千円(前年同四半期は営業損失254,243千円)、経常損失247,271千円(前年同四半期は経常損失252,373千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は166,912千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失168,430千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

#### (野菜苗生産販売事業)

当事業部門におきましては、引き続き閑散期の受注拡大のために取組んできました茨城県内向けのメロン苗や、苗の多品目化へ向け推進しているホームセンター向けの玉ねぎ苗や花苗等の売上が好調に推移した一方、生産者の作付け時期の変更等によりトマト苗の受注が減少した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は438,335千円と前年同四半期と比べ3,056千円(△0.7%)の減収となりました。損益面につきましては、茨城農場の生産能力拡大による生産性の向上等に加え、全国的な暖冬の影響により、冬季経費の増加要因となる重油等の燃料の使用量が減少し、製造経費が減少した結果、セグメント損失(営業損失)は133,933千円(前年同四半期はセグメント損失148,590千円)となりました。

品目分類別の売上高は次のとおりであります。

品目分類	売上高(千円)	前年同四半期比(%)
トマト苗	118,420	89.5
キュウリ苗	138,212	97.5
ナス苗	11,712	99.8
スイカ苗	11,562	116.6
メロン苗	99,537	110.1
ピーマン類苗(注)	20,987	87.5
その他	37,902	121.6
合計	438,335	99.3

(注) ピーマン類として、ピーマン・パプリカ・シシトウ・トウガラシをまとめて表示しています。

規格分類別の売上高は次のとおりであります。

規格分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ポット苗(7.5cm～15cm)	219,815	96.7
当社オリジナル(アースストレート苗、ヌードメイク苗、e苗シリーズ、高接ぎハイレッグ苗、ウィルスガード苗)	110,696	91.7
セル苗(288穴～72穴)	77,901	112.4
その他	29,921	124.7
合計	438,335	99.3

(注) ポット苗は、ポリエチレンのポット(ポリ鉢)で育苗した一般的な苗であり、ポットのサイズが大きくなると苗のサイズも大きくなります。セル苗は、小さな穴が連結した容器(セルトレー)で育苗した苗であり、穴数が増えると苗のサイズが小さくなります。

納品地域分類別の売上高は次のとおりであります。

納品地域分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
北海道・東北	29,895	68.3
関東	314,944	101.8
甲信越	19,851	81.9
東日本地域 小計	364,691	96.7
中部・北陸	13,383	97.7
近畿・中国	18,287	91.3
四国	13,469	98.2
九州・沖縄	28,502	170.9
西日本地域 小計	73,643	114.9
合計	438,335	99.3

(注) 静岡は「甲信越」に含めて表示しております。

#### (農業・園芸用タネ資材販売事業)

当事業部門におきましては、海外の種苗会社から優良な品種を選抜し、量販店に対して家庭菜園向けの品種提案等を行うなどの販売推進を行ったことにより種子売上高10,419千円(前年同四半期比41.7%増)となりました。また、培土等の農業資材の販売も増加した結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は23,621千円(前年同四半期比27.4%増)となりました。一方で販売促進費等の増加により、セグメント損失(営業損失)319千円(前年同四半期はセグメント利益1,029千円)となりました。

#### (海外事業)

当事業部門におきましては、現在、中国山東省にある子会社にて野菜苗及び花苗の生産、鉢花(シクラメン)の生産、トマト等の青果物の生産を中心とした施設園芸、生産技術開発のための試験等を行っております。

また、中国北京の関連会社では、本格的な中国国内での苗事業開始に向けての準備を進めており、第三者割当増資により子会社となった韓国の株式会社B J アグロでは、韓国国内での肥料等の販売開始に向け、商品の選別及びマーケット調査を行っております。引き続き、海外事業部を中心に海外での事業拡大に向けて技術開発並びに中国国内を中心に農業関連の市場開拓等を積極的に行っております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,064千円(前年同四半期比28.3%減)、セグメント損失(営業損失)11,656千円(前年同四半期はセグメント損失13,869千円)となりました。

#### (その他の事業)

当事業部門におきましては、貸し農園事業を行っており、売上高521千円(前年同四半期比11.1%増)、セグメント損失(営業損失)941千円(前年同四半期はセグメント損失5,329千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結累計期間の資産の合計は、前連結会計年度末と比べ451,734千円(12.1%)減少の3,259,517千円となりました。これは、現金及び預金の減少71,097千円、受取手形及び売掛金の減少630,632千円、棚卸資産の増加163,128千円等によるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結累計期間の負債の合計は、前連結会計年度末と比べ262,682千円(11.0%)減少の2,108,333千円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少178,495千円、長期借入金の減少51,679千円等によるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結累計期間の純資産の合計は、前連結会計年度末と比べ189,052千円(14.1%)減少の1,151,184千円となりました。これは、剰余金の配当及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。そのため、連結業績予想については2018年12月14日の開示時点から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	508,068	436,971
受取手形及び売掛金	1,035,137	404,504
商品及び製品	5,845	5,857
仕掛品	57,306	172,822
原材料及び貯蔵品	103,548	151,149
その他	39,908	58,485
貸倒引当金	△1,782	△1,652
流動資産合計	1,748,031	1,228,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,041,303	1,033,748
機械及び装置（純額）	211,338	208,561
土地	505,709	507,529
その他（純額）	22,168	24,406
有形固定資産合計	1,780,519	1,774,245
無形固定資産	38,905	39,330
投資その他の資産	143,794	217,802
固定資産合計	1,963,220	2,031,378
資産合計	3,711,252	3,259,517

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	520,894	342,399
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	217,050	213,362
未払金	135,496	174,364
未払法人税等	29,689	3,297
賞与引当金	49,999	22,066
その他	65,306	55,692
流動負債合計	1,518,436	1,311,182
固定負債		
長期借入金	689,783	638,104
資産除去債務	75,732	75,967
その他	87,062	83,080
固定負債合計	852,578	797,151
負債合計	2,371,015	2,108,333
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	331,494	331,494
資本剰余金	245,674	245,674
利益剰余金	574,894	395,285
自己株式	△293	△293
株主資本合計	1,151,770	972,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	329	△163
為替換算調整勘定	△1,327	△1,013
その他の包括利益累計額合計	△997	△1,176
新株予約権	554	554
非支配株主持分	188,910	179,646
純資産合計	1,340,236	1,151,184
負債純資産合計	3,711,252	3,259,517



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年11月1日 至平成31年1月31日)
売上高	463,279	464,542
売上原価	484,693	466,735
売上総損失(△)	△21,413	△2,192
販売費及び一般管理費	232,830	242,377
営業損失(△)	△254,243	△244,570
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	70	70
受取手数料	607	2,886
補助金収入	2,728	1,597
その他	1,289	958
営業外収益合計	4,696	5,512
営業外費用		
支払利息	1,044	1,137
持分法による投資損失	1,652	6,472
その他	129	603
営業外費用合計	2,826	8,214
経常損失(△)	△252,373	△247,271
特別損失		
固定資産除却損	—	286
特別損失合計	—	286
税金等調整前四半期純損失(△)	△252,373	△247,558
法人税、住民税及び事業税	512	512
法人税等調整額	△74,362	△71,894
法人税等合計	△73,850	△71,382
四半期純損失(△)	△178,522	△176,176
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,092	△9,264
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△168,430	△166,912

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年11月1日 至平成31年1月31日)
四半期純損失(△)	△178,522	△176,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△521	△492
為替換算調整勘定	△144	313
その他の包括利益合計	△666	△178
四半期包括利益	△179,188	△176,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△169,096	△167,091
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,092	△9,264

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	野菜苗生産 販売事業	農業・園芸 用タネ資材 販売事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	441,392	18,536	2,881	462,811	468	463,279	—	463,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	72	999	1,071	3,488	4,560	△4,560	—
計	441,392	18,609	3,880	463,882	3,957	467,840	△4,560	463,279
セグメント利益又は 損失(△)	△148,590	1,029	△13,869	△161,429	△5,329	△166,758	△87,484	△254,243

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貸し農園事業及び育種事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△87,484千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	野菜苗生産 販売事業	農業・園芸 用タネ資材 販売事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	438,335	23,621	2,064	464,021	521	464,542	—	464,542
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3,795	3,795	—	3,795	△3,795	—
計	438,335	23,621	5,860	467,817	521	468,338	△3,795	464,542
セグメント損失(△)	△133,933	△319	△11,656	△145,909	△941	△146,851	△97,718	△244,570

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貸し農園事業であります。

2. セグメント損失(△)の調整額△97,718千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。